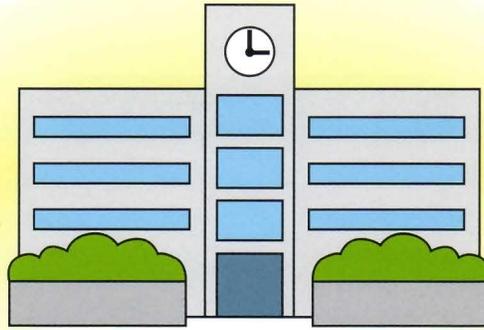


学 校 評 価



教育活動の改善・充実・信頼される開かれた学校づくりをめざして

文部科学省は、平成20年1月に「学校評価ガイドライン」を策定し、学校評価の目的や方法、結果の公表方法等を示しました。

このガイドラインの策定を受け、鳴門市教育委員会は、「鳴門市学校評価システム推進運営委員会」を設置して本市における望ましい学校評価の在り方等について検討を進めるとともに、研究協力校ではガイドラインに基づく学校評価の実践研究に取り組んできました。

このリーフレットは、市内の教職員の皆様に学校評価についての理解を深めていただくとともに、学校評価の実践に活用していただくために作成しました。各学校における教育活動や学校運営の改善・充実、さらに、信頼される開かれた学校づくりに向けた取組に役立てていただければ幸いです。

学校評価導入の背景と必要性

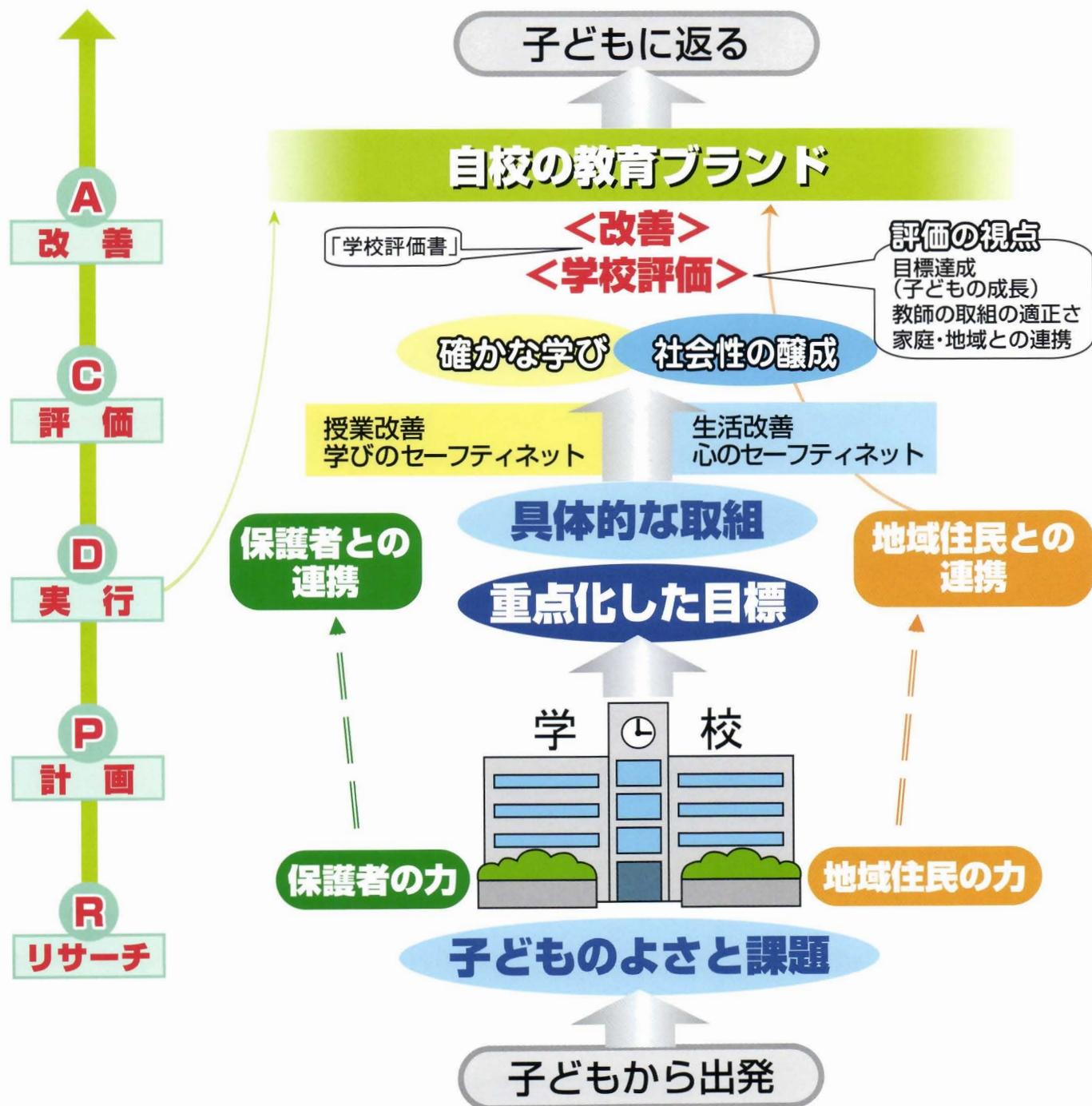
押し寄せる教育課題
多忙の中の教師

組織マネジメント

教育課題の整理統合
教師の取組の重点化

学校評価・鳴門プラン 全体イメージ

～ 子どもから出発し、子どもに戻る学校評価 ～



学校評価・鳴門プランがめざす姿

～4者(教職員, 子ども, 保護者, 地域住民)連携による学校づくり～

4者の連携による学校づくり

連携の鍵は
目標・情報の共有

4者がそれぞれ当事者意識を持って**重点目標**に向かって取り組むことによって、**地域の教育ブランド**を実現する。

子どもは自分の頑張りや
学校生活を振り返ります。

教職員

全教職員が目標に向かって
協働して指導に当たる。

保護者・地域の方と
連携・協力関係をつくる。

潤いのある子どもとの
関係性を醸成する。

子どもの成長, 自身の
取組, 保護者, 地域との
連携協力を評価します。

子ども

子ども自身が目標に向かって
学びの主体となる

生活改善の主体となる

地域・社会に貢献する

学習習慣を身につける。

保護者

保護者も
目標を共有し,
我が子の教育の主体となる。

我が子のしつけの主体となる。

早寝・早起き・朝ご飯等,
我が子の生活習慣改善の
主体となる。

子どもの成長,
学校の取組,
自身の連携協力を
評価します。

地域住民

地域の方も
目標を共有し,
地域で子どもを育てる。

あいさつ運動等への
協力, 声かけ

子どもの頑張りへの励まし。

子どもの安全を
守ることへの協力

子どもの変容と教育の困難さ

これまで以上に求められる

子どもに向き合う教育の実現

自分の殻を厚くし、自己防衛的に対応しようとする子ども

鳴門市教育振興計画施策と学校評価

＜鳴門市教育振興計画施策＞

【基本理念】

『夢と希望あふれる教育文化の創造と発信』

【基本目標】

『協働を愛し、思いやりに満ちた次代を担うひとづくり』

【基本方針】

『将来に向かってたくましく生きる子どもの育成』

＜そのために＞

『学校(園)の自主性・自律性の確立』

【施策の内容】

- (1) 開かれた学校(園)づくりの推進
- (2) 学校(園)評議員制度の充実
- (3) 学校(園)評価システム(『鳴門プラン』)の導入

子どもから出発し、子どもに戻る

『学校評価・鳴門プラン』のねらいと特徴

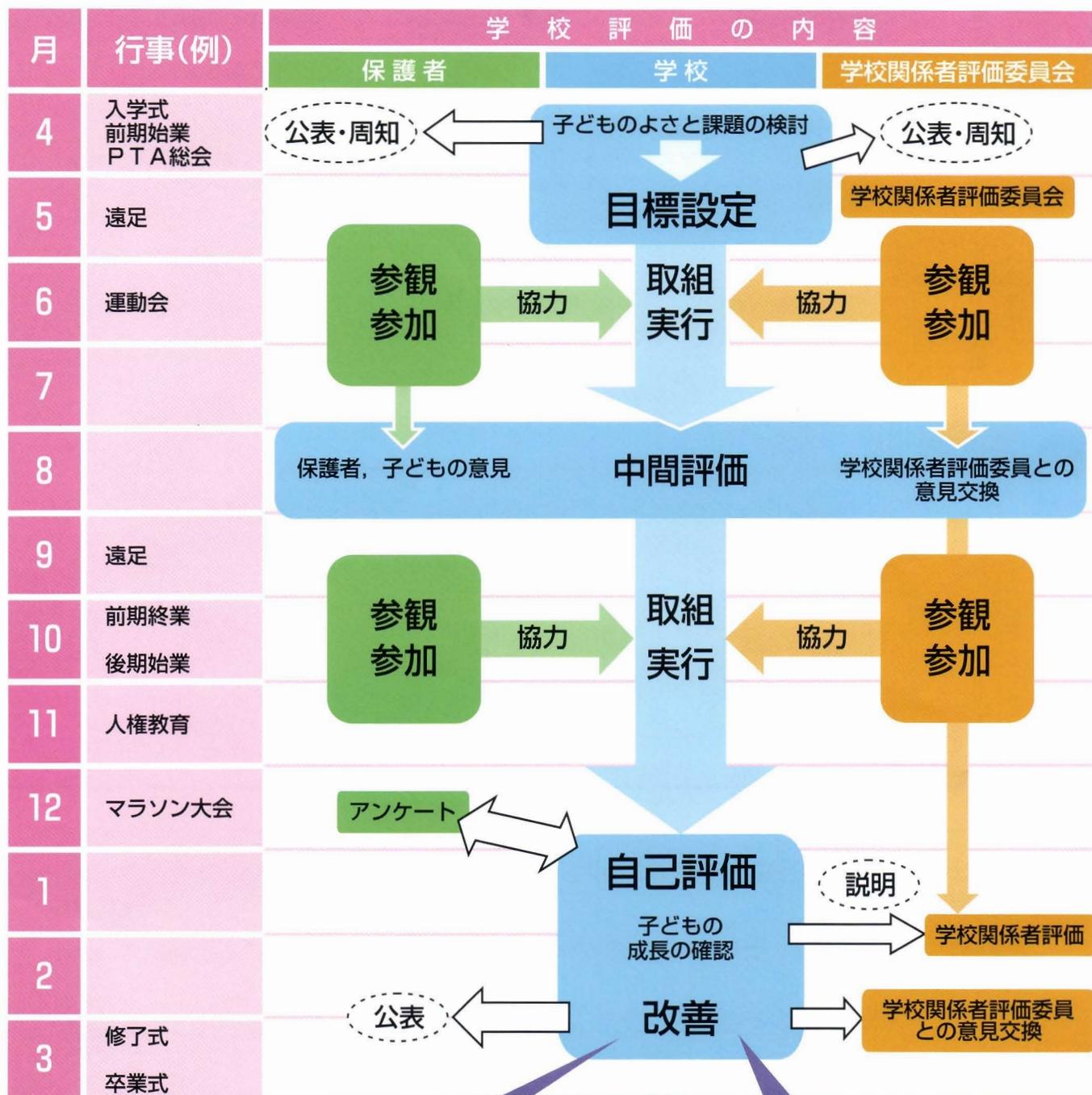
- 組織マネジメントの考え方により、自主的・自律的な学校運営を実現する。
- 全教職員による目標、取組づくりにより、内発的な協働を産み出す。
- 目標・情報を保護者・地域住民と共有することにより、連携・協力関係を創造する。
- 子どもと目標を共有し、子どもの自主的な学びと自律的な生活改善を引き出す。

学校評価・鳴門プランの進め方

～ 子どもから出発し、子どもに戻る学校評価 ～

重点目標を軸に
各学校行事等, 教育活動の
ねらいをつなげます。

設定する具体的な取組は
常に全教職員が意識して
取り組める内容とします。



保護者の意見が反映されます。

保護者, 地域の人との
連携・協力が進められます。

学校の課題，重点化シート

Rリサーチ

↓
P計画

↓
D実行へ

自校の子どものよさと課題の重点化

	学習	生活
掘り起こし さと課題の 子どものよ	<p>学力診断結果</p> <p>学習習慣調査結果</p>	<p>教師の認識</p> <p>不登校, 問題行動データ</p> <p>生活実態調査結果</p>

児童生徒, 保護者アンケート結果

なる課題 いよさ・気 特に伸ばした	<p>◎自校の子どものよさや課題から目標の重点化を行い, 具体的な取組を設定する。</p> <p>◎校長のリーダーシップのもと全職員の総意で課題を焦点化していくことが, 教職員一人ひとりの自律的・主体的な取組を産み出す。</p>	
-------------------------	--	--

と目標 よさや課題 重点化した	<p>◎課題→目標</p> <p>重点化した目標は, 求める価値観を伴った子どもの姿を表現する。</p>	
-----------------------	--	--

な具体的 取組	<p>教師, 子ども, 保護者, 地域の人 の合い言葉『 』</p> <p>教師だけでなく, 子ども, 保護者, そして地域住民も重点化した目標を合言葉として常に認識して生活できることが, 効果を産み出すエネルギーの焦点化につながる。</p>	
------------	---	--

指標 た子どもの姿 目標を達成し	<p>◎指標の設定</p> <p>重点化した目標を達成したときの子どもの姿を指標化する。</p>	
------------------------	--	--

- ◎自校の子どものよさや課題を掘り起こすところから, 目標づくりをすすめます。
- ◎全職員によって目標づくりをすすめることによって, 教職員の自律的な取組を実現します。
- ◎重点化した目標と具体的な取組は, 保護者, 地域の人にも積極的に情報発信し, 共有します。
- ◎保護者, 地域の人と重点化した目標と具体的な取組を共有することによって, 連携を深めます。
- ◎目標を達成した子どもの姿を指標化することによって, 評価を明確にします。

鳴門市学校評価書

◎学校評価の結果は、学校評価書にまとめられ、鳴門市教育委員会へ提出されます。

C評価
↓
A改善

平成 年度 鳴門市学校評価書 鳴門市 小学校・中学校

I 経営の重点に関すること A:大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D:課題である

項目	内容	評価	コメント
重点目標 (重点的に求める価値目標)	人のこと、自分のことを大切にしたい学びと生活ができる子		
具体的な取組; (組織として価値観を揃えて取り組むこと)	①人のお話を大切にしたい聞けるようにする		教師が、常に意識して 取り組める内容とします。
	②家庭学習 (学年×10分) の実施を見届け、徹底を		
評価指標; (具体的な求める子どもの姿・行動目標)	「人のことを大切にしたい聞き方ができている」が80%以上		子どもの具体的な行動目標を 明確にし、指標とします。
	「家庭学習 (学年×10分) ができている」が80%以上		

学校の自己評価	
改善方策	

学校関係者評価	
---------	--

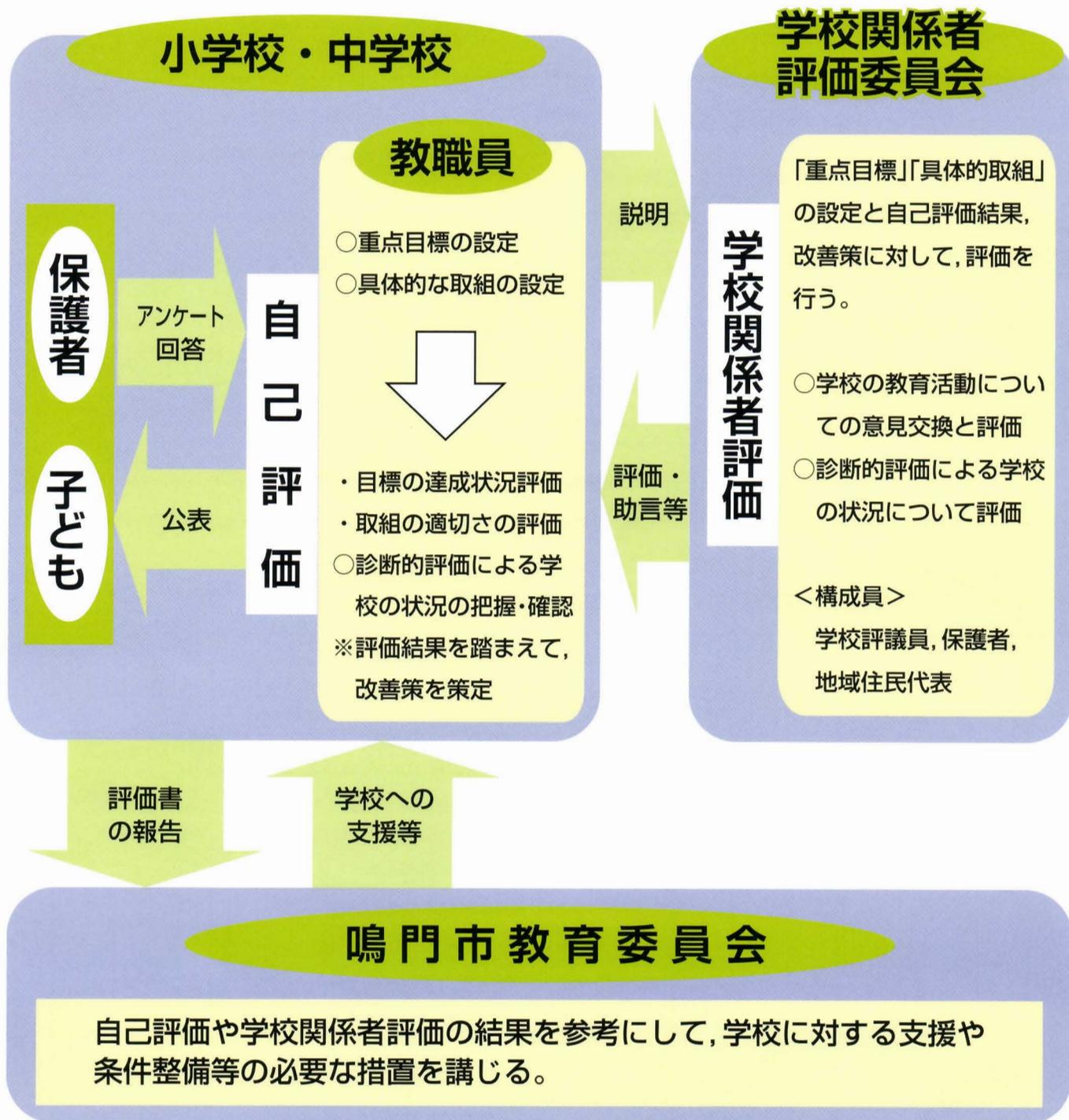
II 学校アセスメント A:大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D:課題である

	大項目	中項目	小項目	評価	A,Dはコメント
1	教育課程	確かな学力	学力調査等の結果		
2	学習指導	運動・体力	運動・体力調査の結果		
3			教育課程, 指導方法の工夫	習熟度別少人数指導, TT指導への取組状況	
4			自ら学ぶ学習づくり, 問題解決的な学習等への取組		
5			コンピュータや情報教育への取組		
6			教材開発や外部人材の活用等, 工夫した授業の取組		
7			図書館の計画的利用, 読書活動の推進への取組		
8	教育活動, 学校運営に かかる13領域について, チェック項目を設定して, 診断的な自己評価を行う。		体験活動, 学校行事等の意図的・計画的実施		
9			学校間の円滑な接続を図る連携への取組		
10			人権教育, 食育, 環境教育の指導計画, 指導, 評価の実施状況		
11			その他自校独自の取組等		

学校の自己評価	
改善方策	

学校関係者評価	
---------	--

学校評価・鳴門プランの構成



平成20年度 文部科学省指定

「平成20年度 学校評価の充実・改善のための実践研究事業」